

平成の際どいタイムラグ

丸山暢久（4組）

平成の30年間は我々ベビーブーマーが働き盛りの時代だった。その中で後から振り返って“際どかったな”と思った2件について記したい。

1995年（平成6年）2月頃に当社の特約店担当者から相談があり、H社の勝田工場より腐食した屋外タンクの修理の依頼があったとの事。就いては一緒に点検して改修方法と範囲を見て欲しいようで、その日程を3月24日と決めた。その時、普通は家を6時40分頃に出て鶴見にある事業所に通っていた。当日は勝田に8時半着の予定なので普段より30分位早く家を出て現地に行き、一通りの点検作業と工場関係者との打合せも終えて帰路に就いた。17時頃、赤坂見附で丸ノ内線に乗り換えるべくホームで待っていると何となく騒々しい状況で電車が止まっているようだった。家内に電話して「バスで帰るから少し遅れる」と告げた処、「何も知らないの?」ときた。オウム真理教がサリンと云う毒薬を方々で撒いて大変な被害者が出た模様とのことだった。帰宅してからテレビで繰り返し放映される模様を見たら、何と毎日通勤途中の中野坂上駅でも撒かれ、その上に撒いた時間が7時少し前のようだった。もし勝田へ行く予定が無かったら自分もその被害者の一人だったかも、と思うとゾッとした。娘は春休みでその日は普段よりも遅く家を出て、部活の予定だったが方南町駅に行くとシャッターが閉じられ、行けなくなったので家に帰り家内に「お母さん、電車が止まったみたい・・・」と云う訳で、親子が寸での処で助かった。

2010年（平成22年）の暮れの頃、シンガポールに勤務の知人から、ゴルフでもやりに来ませんかと言う話があるので、同じ4組の瀧沢政視君と相談が始まった。夫々まだ現役の終盤辺りなので日程調整を年明けから始め、3月10日頃と決まった。飛行機は3月11日の深夜0時30分羽田発でシンガポールには11日の6時30分頃到着。その日は市内観光を主とし、夜は友人と会食。食事も終わってホテルに帰り、念の為に携帯電話を見たら10回ほど会社から安否確認のメールが入っていた。

抜き打ちの安否確認の訓練かな?と思い、“無事”の返信をした。翌朝、ロビーに行くと政視君が既に居て、「おい丸山、大変だぞ!この新聞を見ろよ!」と言うので見たら、福島原発で爆発が起きた写真と記事であった。一瞬衝撃であった、が、シンガポールに居ては何もすることが出来ず、家に電話したが不通であった。扨、家内は無事であることを確認できたが、その日は偶々目黒の友人宅へ行き、帰りに大地震に遭遇し大混雑の中で渋谷まで徒歩で来たが、1時間前に誰かが乗ったタクシーが1、2メートル程進んでいただけで後日の笑い話。家内は渋谷の教会に運よく泊まることが出来、翌日帰宅した。私はと云えば、シンガポールを深夜に出て早朝、羽田に着いた。遊びのバッグを持って方南町の駅に着いたら、これから会社に行く人ばかり。些か気が引けたが、後日会社で聞いたら、ビルは相当揺れたようだ。平成の描写は他にもあるが、この2件は全く夢想だにしない大きな惨事

が偶然にも 1, 2 か月前に予定したその日に起き、偶然にもその予定があった為にタイムラグが生まれ、それを回避できたことにある。(2019 年 4 月 13 日)

【写真 2 葉はシンガポールで瀧沢政視君と】



マーライオン像前にて（像はイミテーション、本物の大きな像は落雷被害で修理中）

